

NEW

標的糖鎖抗原のみに極めて高い特異性を持つ新規モノクローナル抗体
抗 CDw75 抗体 (クローン FR9)

Web ページ番号 71515



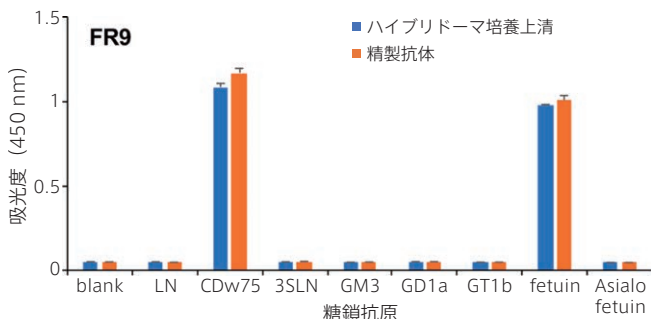
糖タンパク質の *N*-結合型糖鎖や糖脂質の糖鎖構造として知られる CDw75 (Neu5Ac α 2,6Gal β 1,4GlcNAc) を特異的に認識するマウスモノクローナル IgM 抗体です。

※本製品は国立研究開発法人産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 奥田徹哉博士の研究成果を元に、フナコシ(株)が製品化し、販売しています。

- CDw75 に対して極めて高い特異性を示し、前駆体や類似構造は認識しません。
- 免疫細胞染色 (PFA 固定試料も可能)、フローサイトメトリーに加えて、既存抗体では難しかったウェスタンブロットに使用することも可能です。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
Anti-CDw75, Mouse-Mono (FR9) NEW	FNA	FDV-0046	100 μ g / 55,000
精製品 (0.5 mg/ml), 溶解バッファー: PBS, サブタイプ: IgM (k)			

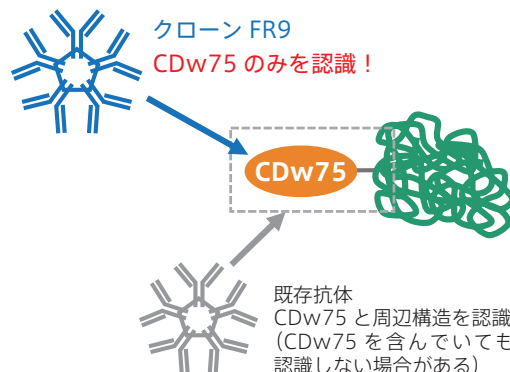
クローン FR9 の抗原特異性の検定



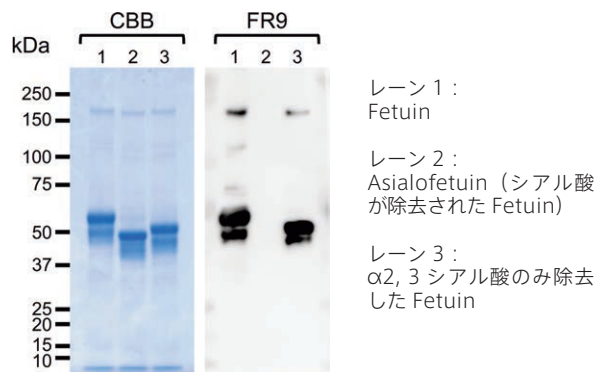
各種糖鎖抗原をコーティングしたマイクロプレートを用いた ELISA 法により、クローン FR9 (青: ハイブリドーマ培養上清, オレンジ: 精製抗体) の抗原特異性を検定した。その結果、CDw75 を含む抗原をコーティングしたウェルにおいてのみ、有意なシグナルが検出された。クローン FR9 が CDw75 に対して極めて高い特異性を持ち、類似構造を認識しないことが分かる。

Okuda, T., et al. (2021) より改変して引用

既存の抗体と異なり、周辺構造に依存せず
標的糖鎖のみを認識



ウェスタンブロットによる抗原の検出例



抗原タンパク質を SDS-PAGE によって分離し、CBB 染色 (左図) およびウェスタンブロットング (右図、クローン FR9 を一次抗体として使用) によって分析した。クローン FR9 はすべてのシアル酸が除去された Asialofetuin は認識しない一方で、 α 2,3 シアル酸のみ除去 (CDw75 は残っている) した Fetuin は認識した。クローン FR9 は CDw75 を特異的に認識していることが示唆された。Okuda, T., et al. (2022) より改変して引用

販売店

funakoshi |

フナコシ株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番7号
www.funakoshi.co.jp info@funakoshi.co.jp

試薬: reagent@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1620

機器: kiki@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1619

受託: jutaku@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1645

※本紙に記載されている価格は、2023年12月1日現在です。

FUN-7661 (2023.12, No. 781)